

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 国語

科目 現代の国語

教 科： 国語

科 目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (新編現代の国語 東京書籍)

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】

実社会に必要な知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：自己を見つめる／「ルリガシカミキリの青」 【知識及び技能】 言葉には知識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や論点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、関心をまとめ、伝えようとしている。	・指導事項 評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。要旨をまとめ、文章の要点を理解する。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や論点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の主張を踏まえて、「現代の国語」の学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	単元：他者に出会う／「未来をつくる想像力」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられる。	・指導事項 筆者独自の考え方を読み取る。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、「現代の国語」の学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元：他者に出会う／「水の東西」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられる。	・指導事項 筆者独自の考え方を読み取る。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、「現代の国語」の学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・単元：他者に出会う／「集めた情報の内容を検討して意見文を書く」 【知識及び技能】 主張と論拠など、情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会から適切な題材を決め、伝えたいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に取り組むことができる。 ・「気になるニュースについて話そう」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方接続の仕方について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けことに意欲を持ち、言葉を意識して、言語生活を豊かにさせる。	・指導事項 情報を整理し、内容や構成に注意して話す。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック ・一人1台端末の活用 等	・【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に取り組むことができる。 ・【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 【思考力・判断力・表現力】 「話すこと・聞くこと」において、様々な観点から情報を収集、整理して話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に取り組むことができる。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元：視野を広げる／「ハサミ」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的な文章の要旨を的確に読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられる。	・指導事項 筆者が左利きだからこそ見えた世間の様子を読み取ることで、筆者の価値観と主張をつかむ。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられている。	○	○	○	8
	単元：言葉と生活 1 「分かりやすい説明をしよう」 【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語感を磨き、語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられる。	・指導事項 分かりやすい説明になるように話を組み立てる。聞き手の反応を意識して工夫して話す。 ・教材 教科書・プリント、ベーシック	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元：社会と重なる「錦洗いの日々」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられる。	・指導事項 情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えを持ち、意欲的に伝えられている。	○	○	○	8
	単元：言葉と生活 1 「異なる種類の文章を読み比べよう」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に取り組むことができる。	・指導事項 複数の文章を読み、それぞれの内容や、書き方の特徴を把握する。 ・教材 教科書、プリント、ベーシック	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に取り組むことができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： （ 帝国書院 高校生の地理総合, 帝国書院 標準高等地図 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているととも、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめている。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図 【知識及び技能】 ・世界地図や地球儀での表現方法についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識及び技能】 ・世界地図や地球儀での表現方法についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	5
	2節 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表にまとめる。 ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理する。 ・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識及び技能】 ・日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表にまとめている。 ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界と国家と領域 【知識及び技能】 ・日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	2
	2章 結びつきを深める現代世界 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき 【知識及び技能】 ・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 ・交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深める。 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえる。 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえる。		【知識・技能】 ・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	10
	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 【知識及び技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 ・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	2章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 【知識及び技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球規模的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8
	5節 資源・エネルギー問題 6節 地球環境問題 【知識及び技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球規模的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・学習内容に応じた知識の理解及び、資料の読み取りを行い、それらをもとに自らの考えを考察させ、表現・議論させる。 ・授業プリント等を提出させ、学習の取り組み具合を確認する。	【知識・技能】 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 【思考・判断・表現】 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球規模的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

[illegible]

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

教科 数学

科目 数学Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (実教出版 新編 数学Ⅱ)

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】
- 数学の基礎知識や基礎計算力が付いており、基本的な問題が解ける
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 少し難易度の高い問題が解け、数学的な考え方をすることができる
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 期限内に提出物を提出でき、熱心に取り組んでいる

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題が解ける	各単元の基本的事項を理解し、例題程度の問題が解け、応用問題を正確に解くなど、数学的な考え方ができる	授業中や考查前のプリントを正しく解答されており、指定された通りの内容で期限内に提出されている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	一般角 三角関数 三角関数の相互関係 弧度法	三角関数の定義を理解する 1つの三角関数の値から、他の値を求める 三角関数の性質を理解する 三角関数のグラフについて、周期が理解できる 計算に加法定理を活用できる 弧度法が理解できる	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題が解ける 例題程度の問題が解け、その応用問題の正しい式が書け、数学的な考え方ができる		○	○	7
	三角関数の性質 指数の拡張 指数関数のグラフ	指数法則を活用しグラフにできる 対数の意味を理解する	与えられた条件から、正しくグラフにできる 三角関数の性質を理解する		○	○	8
	定期考查	定期考查		○			1
	三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式	円単位を用いて、基本的な方程式や不等式を解くことに慣れる	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題が解ける		○	○	7
	加法定理 加法定理の応用 和と積の公式	加法定理を理解し、2倍角や半角の公式を求めることができる これらの公式を使って、方程式の解や三角関数の最大値や最小値を求められる	例題程度の問題が解け、その応用問題を正しい式で書くことができる 授業中の小テストが正しく解答されており、きちんと提出物が期限内に出ている		○	○	8
	定期考查	定期往査		○			1

2 学 期	指数の拡張	累乗と累乗根の計算に慣れる	例題程度の問題が解け、その応用問題を正しい式で書くことができる		○	○	7
	指数関数	指数が実数まで拡張されることが理解できる	授業中の小テストや授業中審査前の課題プリントを正しく解答することができる		○	○	8
	定期審査	定期審査		○			1
	対数とその性質 対数関数	指数方程式が理解できる	例題程度の問題が解け、その応用問題を正しい式で書くことができる		○	○	6
	導関数	指数表示と対数表示は、同じ内容の異なる表し方であることを理解できる	授業中の小テストや授業中審査前の課題プリントを正しく解答することができる		○	○	7
	定期審査	定期審査		○			1

3 学 期	関数の増減と極大・極小	導関数を利用して関数の増減を調べ、グラフに書けるようにする。そのグラフを利用して、最大値や最小値の問題や方程式の実数解の個数についての問題が解けるようになる	例題程度の問題が解け、その応用問題を正しい式で書くことができる 小テストや考查前の課題プリントを正しく解答することができる		○	○	7
	定期考査	定期考査		○			1
			合計				70

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 数学

科目 数学A

教科 科： 数学

科 目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (実教出版 新編 数学A Flex)

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】
- 基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学的に考察して表現・処理する力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 課題に対して数学的論拠に基づいて判断し、的確かつ簡潔に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学のよさを認識し積極的に活用する態度を養う。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。	・各単元の基本的事項を理解したうえで例題程度の問題が解け、その応用問題を正しく式を立てて解き、数学的な考え方ができる。	・授業中や審査前に提出物の解答を済ませたうえで、期限内に提出されている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	場合の数 ・集合の概念を理解させ、次に「場合の数をもれなく重複することなく数え上げる」法則として、順列と組合せを理解できる。 ・基本的な事柄を理解し、ものごとを統合的に見ることの有用性を認識できる。 ・積の法則、和の法則が場合の数の基本となっていることを理解し、具体的な場合の数	1章 場合の数と確率 1、場合の数 2、確率	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	○	○	○	2
	整式の加法・減法・乗法 ・同類項の処理、指数法則、乗法公式などを用いて加法・減法・乗法の計算ができる。 ・順列の総数をn!などを用いて求められる。 ・組合せの意味を理解し、いろいろな総数を求められるようにする。		授業中や審査前の課題プリントが正しく解き解答されており、きちんと期限内に提出されている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	確率・これまでに学んできた確率の概念を、より数学的にまとめるとともに、確率の面白さや有用性を分解できる。 ②試行、事象、根元事象などの用語の意味を理解し、ど根元事象も同様に確からしいときの求め方について理解できる。	確率 ①事象と確率 ②確率の基本性質 ③独立な試行とその確率 ④条件付き確率と乗法定理 ⑤期待値	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	○	○	○	6
	事象と確率 ・集合の考え方を用いて、確率の基本性質について理解できる ・補集合を考えることにより、余事象の確率を求められるようにする。 ②変量の値と確率の対応が与えられたときに、計算ができるようにする。		授業中や審査前の課題プリントが正しく解き解答されており、きちんと期限内に提出されている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	図形の性質 ・三角形や円、直方体や三角錐などの基本的な図形の性質についての理解を深め、図形についての数学的な見方や考え方を豊かなにする。 ・図形の性質を論理的に考察し、表現する能力を育てる。 ・三角形の重心・内心・外心とその性質について理解する。	2章 図形の性質 ①三角形の性質 1、三角形と線分の比 2、三角形の重心・内心・外心	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	○	○	○	5
2 学 期	円の性質 ・平面図形の基本である円の性質として、円に内接する四角形の性質を軸とした、いくつかの性質を理解する。 ・三角形の重心・内心・外心とその性質について理解する。 ・方べきの定理を理解し、活用できるようにする。	②円の性質 1、円に内接する四角形 2、円の接線と弦のつくる角 3、方べきの定理 4、2つの円	授業中や審査前の課題プリントが正しく解き解答されており、きちんと期限内に提出されている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	作図 ・作図の基本をもとにして、いろいろな長さの線分を作図する方法を理解する。 ・空間における直線や平面の位置関係について理解する。 ・いろいろな長さの線分や平面の位置関係を理解できるようにする。	③作図		○	○	○	7
	空間図形 ・空間における直線や平面の位置関係について理解する。 ・空間における直線と平面の決定、直線や平面の位置関係、三垂線の定理、多面体の性質を理解する。 ・図を通して、直観的に判断できるようにする。	④空間図形 1、空間における直線と平面 2、多面体	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。 授業中や審査前の課題プリントを正しく解ける	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科： 理科

科 目： 物理基礎

単 位 数： 2

科目 物理基礎

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書：（ 数研出版 『改訂版 新編 物理基礎』 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・学習した物理の基本的な概念や原理・法則が正しく理解できたか。 ・学習した概念や原理・法則を、その後の学習や生活の中で新しい事象の解釈に応用しているか。 ・推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いていたか。 ・科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を正しく身に付けているか。	・課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断しているか。 ・課題の設定理由、研究過程、結果およびそこから導き出した自らの考えを的確・簡潔にわかりやすく相手に伝えることができたか。また発表にどのような工夫がなされたか。	・物理的な事物・現象に対して主体的に関わり、理解しようとしているか。 ・物理的な事物・現象に対する気づきから課題を設定し解決しようとする態度を身に付けているか。 ・観察や実験に主体的に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1 編 運動とエネルギー 第1 章 運動の表し方 1 速度 2 加速度 3 物体の運動 第2 章 運動の法則 1 力とそのはたらき 2 力のつりあい 【知識及び技能】 ・物体の速さの式を理解させる。 ・等加速度直線運動を表す3 つの式がどのような式で得られたかを理解させる。その式やグラフを正しく運用させる。 ・自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解させる。 ・重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解させる。 ・進みする物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等速直線運動する物体の運動のようす、等加速度直線運動する物体のようす、自由落下する物体のようすについてそれぞれ説明させる。 ・重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であり、運動の状態によらないことを説明させる。 ・作用・反作用の2 力とつりあいの2 力の違いを理解させ、力のつりあいの式を考えさせたりそれらの2 力の間の関係について説明させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもたせ、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解させる。	・各単元に応じた実験を適宜行い、実験プリントを提出させる。 ・適宜発問させ理解度を図る。 ・調べ学習やグループワークで自分の意見をまとめさせ提出または発表させる。 ・学習内容をまとめたノート提出させる。 ・考查の設問で取り組みを図る。 ・教材：副教材、実験プリント ・ICT機器の利用	【知識・技能】 ・物体の速さの式を理解している。 ・等加速度直線運動を表す3 つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる。 ・自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解している。 ・重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解できている。 ・注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 【思考・判断・表現】 ・等速直線運動する物体の運動のようす、等加速度直線運動する物体のようす、自由落下する物体のようすについてそれぞれ説明できる。 ・重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であり、運動の状態によらないことを説明できる。 ・作用・反作用の2 力とつりあいの2 力の違いを理解し、力のつりあいの式を考えたりそれぞれの2 力の間の関係について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査		中間考査	○	○		1
	3 運動の法則 4 摩擦を受ける運動 第3 編 (仕事と力学)エネルギー 1 仕事 2 運動エネルギー 【知識及び技能】 ・物体が力を受けるとき（あるいは受けないとき）、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力がはたらいているかを指摘させる。 ・注目する物体に摩擦力はどのような向きに現れるか、また最大摩擦力の大きさは、物体間の面の状態を表す静止摩擦係数1 と、垂直抗力 N との積で表されることを理解させる。 ・水中にある物体にはどのような浮力がはたらくかを理解させる。 ・仕事、仕事率を計算して求めることができる。 ・運動エネルギーが「あること」を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動方程式を用いて、物体の運動を考えさせる。 ・物体にはたらく摩擦力について説明させる。 ・水中にある物体には、どのような水圧が加わるか、またどのような浮力がはたらくかを正しく理解させ、説明させる。 ・「(仕事)の原理」を説明させ、道具を用いたときに必要な仕事はどうなるかを説明させる。 ・運動エネルギーがどのようなものかを理解させ、説明させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもたせ、理解させる。 ・日常の現象などを観て、水中や空気中で力が加えることに関心を寄せ、それらの浮力はどのようにしてはかることができるか、そもそも	・各単元に応じた実験を適宜行い、実験プリントを提出させる。 ・適宜発問させ理解度を図る。 ・調べ学習やグループワークで自分の意見をまとめさせ提出または発表させる。 ・学習内容をまとめたノート提出させる。 ・考查の設問で取り組みを図る。 ・教材：副教材、実験プリント ・ICT機器の利用	【知識・技能】 ・物体が力を受けるとき（あるいは受けないとき）、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力がはたらいているかを指摘できる。 ・注目する物体に摩擦力はどのような向きに現れるか、また最大摩擦力の大きさは、物体間の面の状態を表す静止摩擦係数1 と、垂直抗力 N との積で表されることを理解している。 ・水中にある物体にはどのような浮力がはたらくかを理解している。 ・仕事、仕事率を計算して求めることができる。 ・運動エネルギーがであることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動方程式を用いて、物体の運動を考えることができる。 ・物体にはたらく摩擦力について説明できる。 ・水中にある物体には、どのような水圧が加わるか、またどのような浮力がはたらくかを正しく理解し、説明できる。 ・「(仕事)の原理」を理解し、道具を用いたときに必要な仕事はどうなるかを説明できる。 ・運動エネルギーがどのようなものかを理解し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしている。 ・日常の現象などを通して、水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ、それらの圧力はどのようにしてはかることができるか、そもそも水圧とは何か、ということを考えようとしている。 ・日常用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し、物理でいうところの「仕事」について理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査		期末考査	○	○		1

2 学 期	3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存 第3 章 熱とエネルギー 1 熱と物質の状態 2 熱と仕事 第3 章 波 第3 章 波の性質 1 波と媒質の運動 2 重ねあわせの原理 【知識及び技能】 ・ 電力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーを計算させる。 ・ さざなみなど物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いて計算させる。 ・ 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解させる。 ・ 仕事によって温度が上昇することを、実験で確認させる。 ・ 縦波と横波の違いを理解させる。 ・ ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 電力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて説明させる。 ・ 力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えさせる。 ・ 比熱の大きさから、物質の温まりやすさを類推させる。 ・ 不可逆変化とはどのような変化かを説明させる。 ・ 波の基本事項について説明させる。 ・ 固定端と自由端での波の反射について、その違いを説明させる。	・ 各単元に応じた実験を適宜行い、実験プリントを提出させる。 ・ 適宜発問させ理解度を図る。 ・ 調べ学習やグループワークで自分の意見をまとめさせ提出または発表させる。 ・ 学習内容をまとめたノートを提出させる。 ・ 考査の設問で取り組みを図る。 ・ 教材：副教材、実験プリント ・ ICT機器の利用	【知識・技能】 ・ 重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーを計算することができる。 ・ ささまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いることができる。 ・ 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。 ・ 仕事によって温度が上昇することを、実験で確認できる。 ・ 縦波と横波の違いを理解している。 ・ ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて説明することができる。 ・ 力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができる。 ・ 比熱の大きさから、物質の温まりやすさを類推できる。 ・ 不可逆変化とはどのような変化かを説明できる。 ・ 波の基本事項について説明できる。 ・ 固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 位置エネルギーは、運動エネルギーのように動きがあり目立つものではないが、仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもち、理解しようとしている。 ・ 力学的エネルギー保存則について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・ ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象、熱と仕事の関係について興	○	○	○	15
	定期考査		中間考査	○	○		1
	第2 章 音 1 音の性質 2 音の体の振動と共振・共鳴 第4 章 電気 第4 章 電気と電気抵抗 1 電気 2 電気と電気抵抗 3 電気とエネルギー 【知識及び技能】 ・ 日常生活での体験を通して、音の波としての性質を考えさせる。 ・ 気柱共振実験を行い、気柱の共鳴音からおんさの振動数を求めさせ、理解させる。 ・ 固体・半固体、半流体の違いについて理解させる。 ・ オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解させる。 ・ 電力と電圧の意味（およびその公式）について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・ 音の特徴づける3 つの要素について説明させる。 ・ 音源とはどのような振動数の音であるかを説明させる。 ・ ガラス杯を振などでこすった際に、それぞれどのような音状態になるかを体験し、説明させる。 ・ 家庭に來ている電気の電圧・電流の値から、使用できる電気器具の数の上限を算出させる。 ・ 電圧を一定にしたとき、消費電力と抵抗値は反比例の関係にあることを式を示して説明させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 音に関する身近な問いかけについて、自分の考えを述べる。 ・ 振動数や音速について、どのようにして音の速さを求めているかについて、考えさせる。 ・ 身近な発電現象について、なぜそうなるか考えさせる。	・ 各単元に応じた実験を適宜行い、実験プリントを提出させる。 ・ 適宜発問させ理解度を図る。 ・ 調べ学習やグループワークで自分の意見をまとめさせ提出または発表させる。 ・ 学習内容をまとめたノートを提出させる。 ・ 考査の設問で取り組みを図る。 ・ 教材：副教材、実験プリント ・ ICT機器の利用	【知識・技能】 ・ 日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。 ・ 気柱共振実験を行い、気柱の共鳴音からおんさの振動数を求めることができる、理解できている。 ・ 固体・半固体、半流体の違いについて理解している。 ・ オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解している。 ・ 電力と電圧の意味（およびその公式）について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 音の特徴づける3 つの要素について説明できる。 ・ 音源とはどのような振動数の音であるかを説明できる。 ・ ガラス杯を振などでこすった際に、それぞれどのような音状態になるかを説明できる。 ・ 家庭に來ている電気の電圧・電流の値から、使用できる電気器具の数の上限を算出することができる。 ・ 電圧を一定にしたとき、消費電力と抵抗値は反比例の関係にあることを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 音に関する身近な問いかけについて、自分の考えを述べることができる。 ・ 音楽器や音速について、どのようにして音の速さを求めているかについて、自分の考えを述べることができる。 ・ 身近な発電現象について、なぜそうなるかを述べることができる。 ・ 電気回路の抵抗の接続のしかたを変えたとき、抵抗に加わる電圧と流れる電流の値がどのようなかについて、主体的に考えることができる。 ・ 1冊で使う電気を踏まえて、ジュール熱や電力について、具体的に考えることができる。	○	○	○	14
	定期考査		期末考査	○	○		1

	第2章 磁場と交流 電流と磁場 第5節 物理學と社会 第1章 エネルギーの利用 1 エネルギーの役割と変換 物理学が育く世界	・各単元に応じた実験を適宜行い、実験プリントを提出させる。 ・適宜発問させ理解度を図る。 ・調べ学習やグループワークで自分の意見をまとめさせ提出または発表させる。 ・学習内容をまとめたノートを出させる。 ・考查の設定で取り組みを図る。 ・教材：副教材、実験プリント ・ICT機器の利用	【知識・技能】 ・電磁誘導の基礎を理解している。 ・デジタルカメラなどを利用し、身近な赤外線の実用例に関し、観察することが出来る。 ・手回し発電機を用い、力学的エネルギーを電気エネルギーに変換できる。 ・身のまわりの放射線量を測定器を用いて測定できる。また、放射性物質についても、放射線を測り、身のまわりの放射線量とどの程度異なるかを確認できる。 ・物理基礎で学習してきた内容が、スポーツ、防災、自動車などのように関連しているかについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・身近な電磁誘導の実用例について、説明できる。 ・直流と交流の違いについて理解しており、それを説明することができる。 ・ある事象に対して、どのようなエネルギー変換が行われているかを考察し、説明することができる。 ・火力、原子力、水力、風力の発電の共通点について説明できる。 ・私たちの暮らしを支える技術は、高校で学んだ物理学の知識がどのように活用されているかを説明できる。	○ ○ ○ 10
3学期	【学びに向かう力、人間性等】 ・電流の流れ向きと磁場の向きとの関係について、主体的に考えることができる。 ・赤外線の実験において、主体的に取り組んでいる。 ・手回し発電機を用いたエネルギーの変換実験について、主体的に取り組むことができる。 ・新しいエネルギーである再生可能エネルギーに興味をもち、さまざまな発電方法における共通点を探するなど、主体的に取り組むことができる。 ・スポーツや防災、自動車などの身近な科学技術に、物理学がどのように活用されているかについて興味をもつ。	定期考査	学年末考査	○ ○ 1
				合計 70

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 理科

科目

化学基礎（必修修選択）

教 科： 理科

科 目： 化学基礎（必修修選択）

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組 選択者

使用教科書： （ 第一学習社 『高等学校 改訂 新化学基礎』 ）

教科 理科

の目標：

【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎（必修修選択）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 ①物質の分離(1) ②物質の分離(2) ③物質を構成する元素 ④元素の確認 ⑤物質の三態 ⑥原子のなりたち ⑦同位体とその利用 ⑧原子の電子配置 ⑨元素の周期律と周期表 【知識及び技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解する。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明させる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成させ、発表したりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解させる。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解している。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13
	第2節 化学結合 ①イオン(1) ②イオン(2) ③イオン結合 ④イオンからなる物質 ⑤共有結合(1) ⑥共有結合(2) ⑦分子の極性 ⑧分子間に働く力 ⑨分子からなる物質 ⑩共有結合の結晶 ⑪金属結合と金属結晶 【知識及び技能】 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解させ、知識を身に付けさせる。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解させ、知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察させる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成させ、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解させる。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	15

2 学 期	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 ①原子量 ②分子量・式量 ③物質量と粒子の数 ④物質量と質量 ⑤物質量と気体の体積 ⑥溶解と濃度 ⑦化学反応式(1) ⑧化学反応式(2) ⑨化学反応の量的関係 【知識及び技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解させる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解させ、化学反応を化学反応式を用いて表させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成させ、発表させる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行わせ、結果を化学的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察させる。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13
	第2節 酸・塩基とその反応 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱 ③水素イオン濃度とpH ④pHの測定 ⑤中和と塩 ⑥中和の量的関係 ⑦中和滴定 ⑧中和滴定曲線 【知識・技能】 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解させ、知識を身に付けさせる。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解させ、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解させ、日常生活と関連付けて考察させる。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解させし、実験結果に対してどのような影響があるかを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究するよう意識づける。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察できる。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	12

3 学 期	第3節 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化数 ③酸化剤と還元剤(1) ④酸化剤と還元剤(2) ⑤金属のイオン化傾向 ⑥金属の反応性 ⑦電池 ⑧電気分解 【知識・技能】 ・金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解させ、知識を身に付けさせる。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解させ、電池の構成などの基本的な知識を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見いださせ、自らの考えで表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究するよう意識づける。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付けている。 ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見だし、自らの考えで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	10
	化学が拓く世界 ・水道水について考えよう ・食品の保存について考えよう ・洗剤について考えよう ・リサイクルについて考えよう 【知識・技能】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解させる。 【思考・判断・表現】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのようにいかされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目させ、意欲的に探究するよう意識づける。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究するよう意識づける。	・各単元に応じた実験を適宜行い、考察させ、実験レポートを提出させる。 ・実験手順と意味を説明し、適切な操作を出来るようにし、安全に実験を行わせる。 ・教材：ICT端末	【知識・技能】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのようにいかされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
合計							
70							

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科： 保健体育

科 目： 体育

教科 保健体育

科目 体育

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： （ 大修館書店 ステップアップ高校スポーツ 2023 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

運動の合理化、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

【学びに向かう力、人間性等】

運動の楽しさや喜びを深くあじわうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理化、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解し、目的に応じた技能を身に付けさせる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、それらを他者に伝えることができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	球技 サッカー 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①基礎練習 対人パス、シュート ②ルールの確認 ③応用練習 ゲーム形式	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	12
	球技 バレーボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①直上パス（アンダー・オーバー） ②三段攻撃 ③ポジションを決めて、ゲーム形式の練習	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	球技 ソフトボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①スローイング ②キャッチング ③バッティング ④ゲーム形式	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	16
	球技 バスケットボール 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①ハンドリング ②ゴール下のシュート ③レイアップ ④フリースローラインからのセットシュート	【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。	○	○	○	16

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	球技 持久走 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①ベースでのベース確認 ②長距離走の実施 ③体力テストとの比較	【知識・技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。				7
	球技 バドミントン 体育の見方や考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、所以外にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 技術や戦術を活用した作戦で、課題解決に向けた安全で合理的な練習の仕方があることを理解し、目的に応じたバット操作やボール操作を行えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した知識や技能を活用して、チームや自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレーを大切にし、運動の楽しさや喜びを深く味わい、チームとして個人として計画的な実践に主体的に取り組むことができるようにする。	①基礎練習 対人ラリー、スマッシュ ②ルールの確認 ③応用練習 ゲーム形式	【知識・技能】 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。				7
							合計

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科：保健体育

科 目：保健

教科 保健体育

科目 保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容にかかわる技能を身に着けるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○オリエンテーション ○ライフステージと健康 ○思春期と健康 ○性意識と性行動の選択 ○妊娠・出産と健康 ○避妊法と人工妊娠中絶 ○結婚生活と健康	【知識及び理解】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化にかかわり、健康課題が生じることがあることを理解できる。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、および性に関する情報とへの適切な対処が必要であることを理解できるようにする。 結婚生活について心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などがかわっていることについて理解できる。また家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できる。また結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康調査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できる。 【思考力・判断力・表現力】 生涯に通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、保健の授業に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	○生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容にかかわる技能を身に着けるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 ○健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容にかかわる技能を身に着けるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 生涯を通じる健康とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容にかかわる技能を身に着けるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 生涯を通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、保健の授業に主体的に取り組んでいる。	○中高年期と健康 ○働くことと健康 ○労働災害と健康 ○健康的な職業生活 ○大気汚染と健康 ○水質汚濁、土壌汚染と健康 ○環境と健康にかかわる対策 ○ごみの処理と上下水道の整備 ○食品の安全性 ○食品衛生にかかわる活動	【知識及び理解】 中高年期を穏やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できる。また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や携帯が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できる。さらに高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、自己の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解できる。 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解できるようにする。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できる。 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できる。 そのためには、働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解できる。 【思考力・判断力・表現力】 生涯に通じる健康にかかわる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、保健の授業に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	○健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容にかかわる技能を身に着けるようにする。 【思考力・判断力・表現力】 生涯を通じる健康とその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容にかかわる技能を身に着けるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○保健医療サービスとその活用 ○医療サービスとその活用 ○医薬品の制度とその活用 ○様々な保健活動や社会対策 ○健康に関する環境づくりと社会参加	【知識及び理解】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できる。 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解できる。また、そのために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて理解できる。 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて理解できる。 人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できる。 食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解できる。 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解できる。 健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であることについて理解できる。 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解できる。 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できる。 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロ	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
合計							
35							

年間授業計画

墨田工科高等学校

教科 外国語

科目 英語コミュニケーションⅡ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単 位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書：（ VISTA English CommunicationⅡ（三省堂））

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】中学校での既習事項を中心に学び直しを行い、英語の基礎力を向上を図る。

【思考力、判断力、表現力等】「自分のことを表現できる」を総目標に、自分自身や身の回りのことについて考え、表現させる。

【学びに向かう力、人間性等】学び合う仲間を尊重し、失敗を恐れずに英語で交流しながら、英語に対する苦手意識を払拭する。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学での既習事項及び高校レベルの新しい表現を中心に学び直しを行い、英語の基礎的な語彙・文法の定着を図る。	自分自身のことや自分の周りで起こっている事について、簡単な語彙や文法を使って表現する。	仲間との交流を通して、互いの共通点や相違点に気づき、自身の考えを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発) 書					
Lesson 1 World Dance Performance 【知識及び技能】 ・世界のダンスに関する文章を聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解する。(知識) ・ALTに体育祭の応援合戦に関する特長や魅力を知ってもらうために、必要な表現や技能を身に付ける。(技能) 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界のダンスについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ALTに体育祭の応援合戦に関する特長や魅力を知ってもらうために、簡単な表現を用いて話して伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界のダンスについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ALTに体育祭の応援合戦に関する特長や魅力を知ってもらうために、簡単な表現を用いて話して伝え合おうとする。	題材：異文化理解（世界のダンス） 言語材料：不定詞の応用（want と to do、疑問詞 to do） 端末を使用して単元の振り返り及び音読テスト、パフォーマンステストを行う。	○	○	○		【知識及び技能】 ・世界のダンスに関する文章を聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解している。(知識) ・ALTに体育祭の応援合戦に関する特長や魅力を知ってもらうために、必要な表現や技能を身に付けている。(技能) 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界のダンスについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ALTに体育祭の応援合戦に関する特長や魅力を知ってもらうために、簡単な表現を用いて話して伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界のダンスについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ALTに体育祭の応援合戦に関する特長や魅力を知ってもらうために、簡単な表現を用いて話して伝え合おうとしている。	○	○	○	10
Lesson 2 A Piece of Cake 【知識及び技能】 ・英語の慣用句に関する会話を聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解する。(知識) ・英語の慣用句に関する会話を聞いたり読んだりするための技能を身に付ける。(技能) 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語の慣用句についての会話を聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語の慣用句についての会話を聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えようとする。	題材：異文化理解(英語の慣用句) 言語材料：疑問詞・ifから始まる節 端末を使用して単元の振り返り及び音読テストを行う。	○	○			Lesson 2 A Piece of Cake 【知識及び技能】 ・英語の慣用句に関する会話を聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解している。(知識) ・英語の慣用句に関する会話を聞いたり読んだりするための技能を身に付けている。(技能) 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語の慣用句についての会話を聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語の慣用句についての会話を聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えようとしている。	○	○	○	10
リスニング英検対策 【知識及び技能】 ・基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・工業に関わる職場での指示や会話の内容を聞き取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・工業に関わる職場での指示や会話の内容を聞き取ろうとする。	題材：リスニング英検 言語材料：時間、形、位置 端末を使用して単元の振り返り及び模擬試験を行う。	○				リスニング英検対策 【知識及び技能】 ・基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・工業に関わる職場での指示や会話の内容を聞き取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・工業に関わる職場での指示や会話の内容を聞き取ろうとしている。				7
1 学 期 定期考査							○	○		1

2 学 期	Lesson 6 Smart Agriculture 【知識及び技能】 ・日本の農業を支える技術に関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解する（知識）。 ・身の回りにある便利な技術について紹介するために、必要な表現や技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りにある便利な技術について紹介するために、簡単な表現を用いて書いて伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身の回りにある便利な技術について紹介するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとする。	題材：先端技術（日本の農業） 言語材料：受け身 端末を使用して単元の振り返り及び音読テスト、パフォーマンステストを行う。	○	○	○	【知識及び技能】 ・日本の農業を支える技術に関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解している（知識）。 ・身の回りにある便利な技術について紹介するために、必要な表現や技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りにある便利な技術について紹介するために、簡単な表現を用いて書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身の回りにある便利な技術について紹介するために、簡単な表現を用いて書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	Lesson 7 A Martial Art on Tatami 【知識及び技能】 ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解する。（知識） ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要な技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えようとする。	題材：日本文化（競技かるた） 言語材料：関係代名詞の非制限用法 端末を使用して単元の振り返り及び音読テストを行う。	○	○		【知識及び技能】 ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解している。（知識） ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要な技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・競技かるたに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3 学 期	Lesson 8 Biologging 【知識及び技能】 ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解する。（知識） ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要な技能を身に付ける。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えようとする。	題材：科学技術（バイオロギング） 言語材料：分詞構文、強調構文 端末を使用して単元の振り返り及び音読テストを行う。	○	○		【知識及び技能】 ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要となる表現を理解している。（知識） ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりするために必要な技能を身に付けている。（技能） 【思考力、判断力、表現力等】 ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バイオロギングに関するスピーチを聞いたり読んだりして、概要や要点及び詳細を捉えようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
										合計
										105

年間授業計画

墨田工科高等学校

教 科： 公民

科 目： 公共演習 A

教科 公民

科目 公共演習 A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

使用教科書： (自校作成資料)

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共演習 A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな個人形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方について思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解する。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料から、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる、人間観・自然観・宗教観について、理解する。 【思考・判断・表現】 己の生き方を見つめなおし、自らの体験や悩みを振り返り、他者、周囲段や社会などのかかわりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の諸課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする。	公共的な空間を作る私たち (1) 現代社会に生きる青年 (2) 社会的な関係のなかで生きる人間	【知識・技能】 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな個人形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方について思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解している。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料から、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる、人間観・自然観・宗教観について、理解している。 【思考・判断・表現】 己の生き方を見つめなおし、自らの体験や悩みを振り返り、他者、周囲段や社会などのかかわりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の諸課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。また、古来の日本人の心情と考え方や、各国の宗教に関する諸資料を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追及したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	○	○	○	5
	【知識・技能】 善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解する。また各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索する手掛かりとなる善、正義、義務などの考え方について、自分自身の考え方を振り返り、主体的に学習する。	公共的な空間における人間としての在り方生き方	【知識・技能】 善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解している。また各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索する手掛かりとなる善、正義、義務などの考え方について、自分自身の考え方を振り返り、主体的に学習している。	○		○	2

【知識・技能】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象と課題についてそれらを実現する上での課題について、主体的に追究する。	公共的な空間における基本的原理	【知識・技能】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権の尊重、法の支配、権利と義務の関係など、公共的な空間における基本的原理について、現実社会の諸事象と課題についてそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	4
【知識・技能】 政治と法の意義と機能、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方の関連や、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本の政治について、政党政治や選挙などの観点から、政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方に関する現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	民主主義と私たち	【知識・技能】 政治と法の意義と機能、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方の関連や、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代日本の政治について、政党政治や選挙などの観点から、政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方に関する現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現代社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、構想し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	経済社会で生きる私たち	【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現代社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	【知識・技能】 企業の経済活動と労働市場、経済主体と経済循環、財政の働きについて現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について、よりよい社会の実現を視野に、自身の就職後の姿を想像しながら主体的に解決しようとする。	私たちの職業生活	【知識・技能】 企業の経済活動と労働市場、経済主体と経済循環、財政の働きについて現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動と福祉の向上、持続可能な財政の在り方との関連について、よりよい社会の実現を視野に、自身の就職後の姿を想像しながら主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	【知識・技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断・表現】 以下について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸事象を主体的に解決しようとする。	国際社会のなかで生きる私たち	【知識・技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 以下について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸事象を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10

